

広島支部近況報告(2011年12月発信)

日ごとに寒さが増すこの頃、皆様方いかがお過ごしでしょうか。いつのまにか、年の瀬が近づいてまいりました。「きよしこの夜」「ジングルベル」「赤鼻のトナカイ」「あわてんぼうのサンタクロース」「サンタが街にやってくる」など、昔から歌い継がれてきたステキな歌が多く幼稚園や保育所で、今年も楽しそうに歌われていることでしょう。

さて、11月20日(日)に行われた本年度第2回広島支部例会の報告をさせていただきます。この度も、東京より坂本真理子先生をお招きし、比治山大学附属幼稚園にて実施しました。



坂本先生の講習は常にダルクローズの提唱する『リトミック』の本質的な三大要素に基づいています。

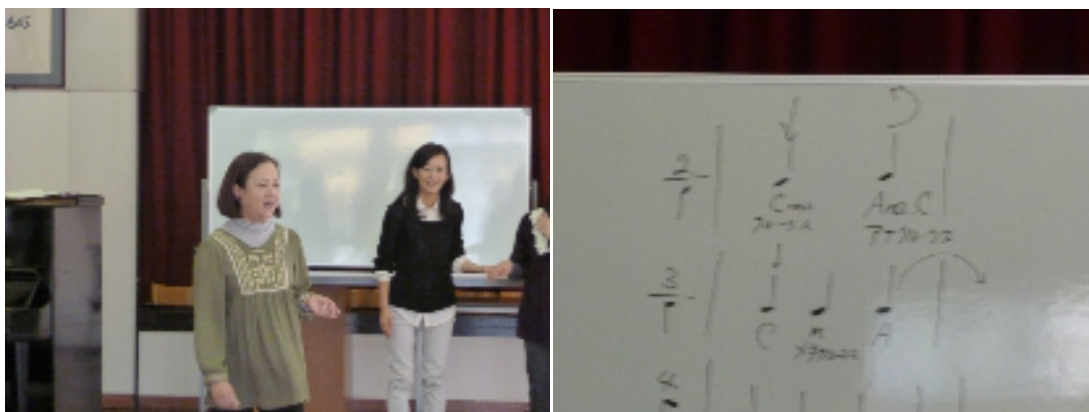
リトミックの三大要素

- ・身体的活動
- ・即時反応
- ・創造性の伸長

午前中は、ヘンデルの「アリア」、ベートーベンの「英雄」をモチーフに、音楽を聴いたイメージに合わせて、①筆を持って絵を描く、②指揮者になったつもりで手を動かす、③歩いたり・走ったり・ス

キップしたり。そして、湯山昭作曲『くしゃみ』で、くしゃみの飛ばしっこ。どれもこれも幼児教育実践現場ですぐに活用できそうなものばかりです。

午後は、最初に、音楽の拍子、「クルーシス」について学びました。2拍子、3拍子、4拍子それぞれの特色と違いを体で学んでいきます。



教材は「アップルパイ」。2拍子は「アッ・プル」、3拍子は「アッ・プル・パイ」、4拍子は、「アッ・プル・ジュース」。

次の講習内容は、「リトミック指導案の作り方」についてでした。

(緒方メモより)

活動の主体	・身体的	・即時的（偶発的偶然性）
①音楽的要素	強さ、速さ、拍・アクセント・拍子	
②身体的要素	歩く、走る、スキップ、ギャロップ、ジャンプ、 押す、引く、回る、揺れる	
③総合的要素	(1) 協調性・・・目を合わせる、ハグする、おしりをぶつける (2) 五感を使う	

今回の講習も内容が豊富で、とても有意義なものでした。わたしは、最近、音楽活動における「基礎の大切さ」を痛感しています。

このたびも、幼児音楽教育、あるいは初心者音楽教育におけるリトミック音楽教育の有用性を、坂本先生からわかりやすく教えていただきました。さっそく自分なりに実践に応用できればと思案しているところです。



さて最後に。下の写真は坂本先生がお帰りになる時のタクシーです。今、広島に1台だけ走っている特別な車です。みんなも大はしゃぎ。「ステキ！カワイイ！」。乗り込まれる坂本先生もとってもうれしそうでした。

